

令和7年6月23日

南箕輪村議会議長 様

提出者名 笹沼 美保

議員研修・議員視察結果報告書

研修名または視察テーマ	令和7年度町村議会議長・副議長研修会
研修・視察実施場所	東京国際フォーラム
研修・視察の期間	R7年 5月 27日
研修・視察の成果等	<p>＜広域災害対応を含めた自治体の災害対応力強化に不可欠な「防災DX」＞</p> <p>地震・噴火・豪雨など昨今の災害に対応するために活用が必要となる「新総合防災情報システム(SOBO-WEB)」「新物資システム(B-PLo)」「クラウド型被災者支援システム」などの『防災DX』について学んだ。</p> <p>災害発生時にドローン等からの空撮動画や画像、断水情報・道路通行規制状況など各種センターからのデータ（「防災IoT」データ）を、地理空間情報として共有する「新総合防災情報システム(SOBO-WEB)」により迅速に収集し、必要な機関へ共有し、災害対応の高度化を図る『防災デジタルプラットフォーム』が進みつつあるとのことだった。このシステムのデータ連携状況は、自治体（都道府県）の3割にとどまり、今後の推進が期待されるところである。</p> <p>＜災害と議会議員の役割＞</p> <p>議会と災害の関係を考える観点から、議会の防災体制の整備上の課題を聞いた。被災者となり得る議会・議員が「それでも住民のために働くことができるか」との問い合わせがあった。災害時においても議会がきちんと機能するために、想定外に</p>

	も備えることが必要であり、具体的な行動を定め、議会機能を失わないための「業務継続計画(BCP)」の策定は必要であり、そのための心得を聞くことができた。当議会では災害時行動マニュアルは策定済みであるが、昨年度からBCPの必要性を認識し検討を続けていることから、今年度の策定を目指したい。
--	--

※研修・視察終了後、議長または委員長が定めた期日までに提出すること。